

2 導入場面において音楽的な見方・考え方を働かせる具体例

(1) 小学校第1学年歌唱教材「はる なつ あき ふゆ」

【本時の目標】
 季節ごとの歌詞の表す様子と**強弱**、**速度**、**音色**と結び付け、場面の様子に合うように歌い方を工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等) ※□…音楽を形づくっている要素

学習活動	教師の発言	予想される子供の反応	指導のポイント
1	1番(春)の範唱を聴き、旋律把握をする。	「はる なつ あき ふゆ」の1番を聴いた後、一緒に歌ってみましょう。	次の活動で、工夫した2番の歌い方との違いに気付かせるために、ここでは1番を工夫せず、旋律把握を目的として軽く歌わせるようにする。
2	2番(夏)の範唱を聴き、気付いたことを話し合う。	今度は私が2番を歌いますから、聴いてみて気付いたことを発表してください。	音楽的な見方・考え方を働かせるために、「音楽を形づくっている要素[強弱, 速度, 音色]」と歌詞の内容とを結び付ける発問をする。
		1番より強かった。	
		どうしてそう思ったの?	
		すごい! これは「強さ」だね。他に気付いたことは?	
		先生の歌声が、低い声だった。「ざぶん」の音は、大きな鯨が低い音で出しているから。	
		ゆっくりだった。鯨とか太陽は大きくてゆっくり動くから。	
		「速さ」と「音色」ですね。いろいろなことに気がきますね! さて、さっきの1番と比べてみてどう思いましたか?	
		全然違って、面白いな! ぼくたちもやってみよう!	
		そうだね、面白いね! どうして1番と2番とでこんなに違うんだろう?	更に音楽的な見方・考え方を働かせるために、歌詞の内容と生活科の学習で学んだ四季の移り変わりとを結び付ける発問をする。
		春と夏…季節が違うからだ! 生活科で習ったよ!	
3	学習目標を焦点化する。	では、今日のめあてを立てましょう。歌詞に合わせて、どんなことが工夫できそうですか?	強さと、速さと、音色。
		めあて	
		かしに あわせて、つよさや はやさ、ねいろを くふうしよう。	

【本時の板書例】

工夫する「音楽を形づくっている要素」を明確に示しためあて

ようすをおもうかべよう

めあて

かしにあわせて、つよさや はやさ、ねいろをくふうしよう。

2はんをきいてみて…

感じたこと

つよくなる。強さ

ゆっくりになる。速さ

ひくいこえになる。音色

感じたこと

おおきな音(おおき) / くじら(くじら) / たよう(たよう) / さぶん(さぶん) / ひくい(ひくい) / うみ(うみ)

はる (あたまから) / なつ (つよく) / あき (ゆるく) / ふゆ (ひくいこえ)

きせつのかんじがでるうた(かた)

音楽と自分たちの生活(四季)とを結び付けた板書(更に音楽的な見方・考え方を働かせる)

音楽で捉えたこと(気付いたこと)と、自分のもつイメージ(感じたこと)とを結び付けた板書

(写真の一部を加工)

(2) 小学校第5学年鑑賞教材「春の海」

【本時の目標】
 箏や尺八の演奏する場面ごとの曲想と速度、強弱、リズムとを結び付け、曲全体を味わって聴くことができる。(思考力、判断力、表現力等) ※□…音楽を形づくっている要素

学習活動 教師の発言 予想される子供の反応 指導のポイント

1 楽曲を聴き、曲想について感じたことを話し合う。

「春の海」を最後まで聴いて、
 ① 海のどんな様子が思い浮かんだか、
 ② 途中で海の様子が変わるところはなかったか、あとで発表してください。

海の穏やかな様子が、思い浮かびました。
 ほう、ずっと穏やかだった？
 いいえ。途中で少し激しくなって、また穏やかになりました。

そう、よく感じ取りましたね！
 最初の場面をア、変わった場面をイと表すと、この曲はどのような構成になっていますか？
 ア→イ→ウかな？
 いや、最初と最後は似ていたから、ア→イ→アです！

すごい！場面が変化することに気がきましたね。
 さて、場面が変わるときに、「音楽を形づくっている要素」は、何が変わったんだろうね？
 速度と、強弱、リズムも変わったよ！

そうだね、箏と尺八の演奏の仕方が変わったんだよね！
 ところでこの曲、どこかで聴いたことない？
 お正月に、テレビでよく聴きます！
 もっとじっくり聴いてみたいな。

場面が変わると海の様子が変わることに着目させるために、最初の発問で投げ掛けておくようにする。

音楽的な見方・考え方を働かせるために、海の様子と「音楽を形づくっている要素〔変化〕」とを結び付ける発問をする。

さらに音楽的な見方・考え方を働かせるために、実生活で聞こえてくる楽曲との関わりに気付かせる発問をする。

2 学習目標を焦点化する。

では、今日のめあてを立てましょう。

めあて **ことと尺八の演奏の仕方によって、曲の感じがどう変わるか、考えながらきこう。**

【本時の板書例】

工夫する「音楽を形づくっている要素」を明確に示しためあて

楽譜を通して見える「音楽を形づくっている要素（リズム）」と、自分のもつイメージとを結び付けた板書（更に音楽的な見方・考え方を働かせる）

日本の音楽に親しもう
 「春の海」
 音色 もきき！ 箏 尺八

ことと尺八の演奏の仕方によって、曲の感じがどう変わるか、考えながらきこう。

気がついたこと
 ・海がおたやかがい様子、少し
 ・途中で、ほげしくなる。
 ・また、おたやかにける。

自分のもつイメージ（感じたこと）と、音楽で捉えたこと（気がついたこと）とを結び付けた板書

曲のつくり ア イ ア

楽譜を通して見える「音楽を形づくっている要素（リズム）」と、自分のもつイメージとを結び付けた板書（更に音楽的な見方・考え方を働かせる）

風が強い 風が吹いてくる 風が吹く 演奏の仕方

鳥がびらり、鳴く。漁師が声を出す「おとと〜」
 波が荒くはる様子

よびかけとこたえ

強くなる、速くなる、激しいリズム

ア よりも…

(写真の一部を加工)

3 2から見えてくる資質・能力の育成

教師は授業の中で、資質・能力の三つの柱を育成していくことになるんだけど、前ページの二つの具体例では、10分ほどの導入の場面でも資質・能力を育成している部分が見えてくるよ。

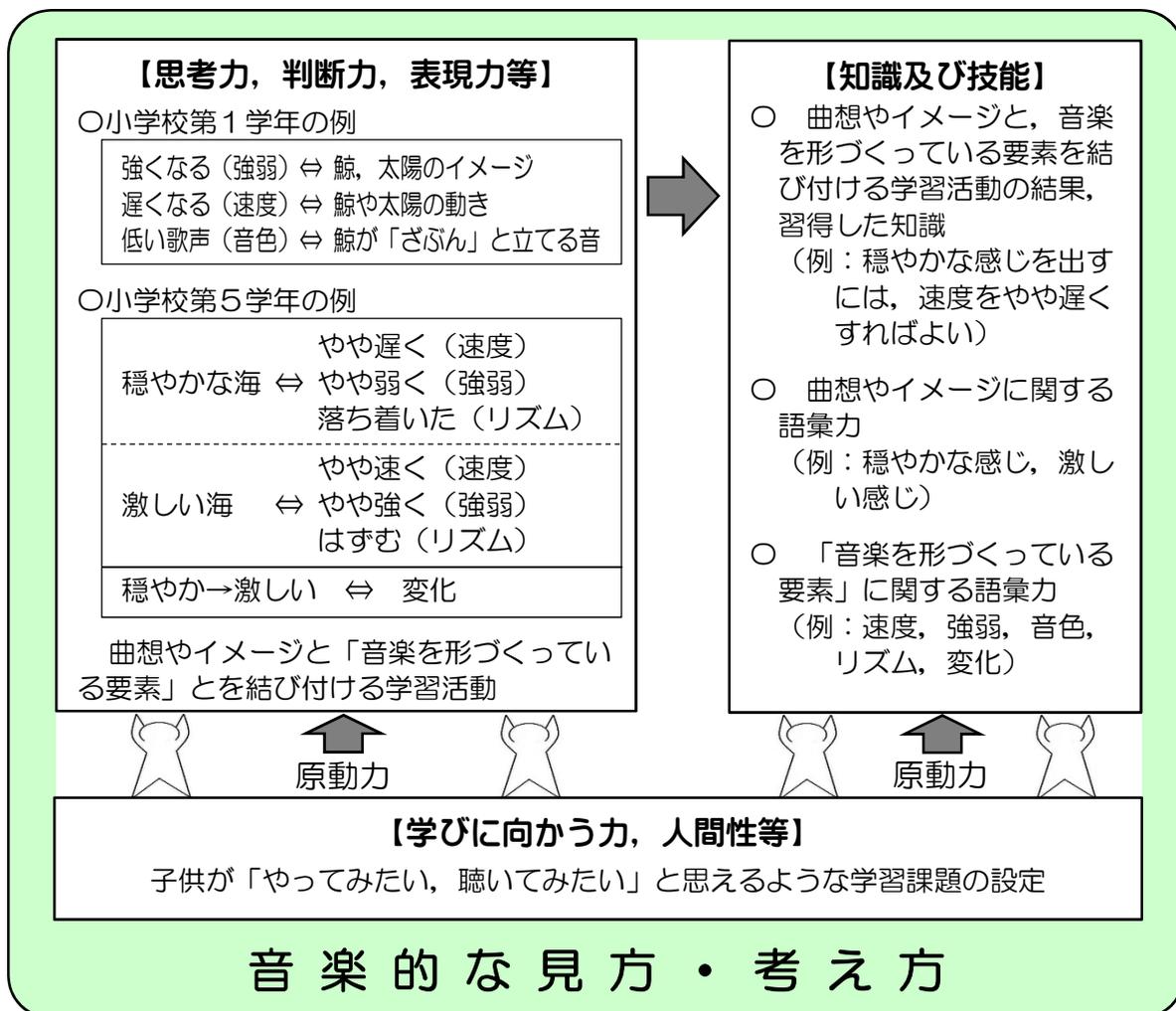


図 導入場面における、音楽的な見方・考え方と連動した資質・能力の育成

図のように、教師が子供に音楽的な見方・考え方を働かせるような学習活動を仕組んでいくことで、資質・能力の三つの柱を育成できるような授業を構想しやすくなると考える。

その結果、学びに対し意欲をもった子供に「学びに向かう力, 人間性等」が涵養され、その力がその後の学びの原動力となり、よりよく「思考力, 判断力, 表現力等」や「知識及び技能」も育成されると考える。

導入の場面は、一単位時間の中では短い時間だが、その後の音楽活動が楽しくなるかどうかの鍵を握っている大事な時間である。今

後も、子供が音楽的な見方・考え方を大いに働かせることができる、楽しい音楽の授業を展開していただきたい。

—引用・参考文献—

- 小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- 中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 芸術編 平成30年7月 文部科学省
- 「共に学び, 未来を創るII」 鹿児島市立田上小学校 平成30年5月

(教職研修課 中山 拓郎)